

# 江北町立江北小学校だより

No.26

令和2年2月13日 文責:熊本輝美

23学級 567名 電話86-2251 mail:kohoku-e@mail.saga-ed.jp

「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 江北の子の育成」

- 1 自分で考え行動します。
- 2 相手の気持ちを考えます。
- 3 決まりを守ります。



## ☆全校朝会☆

**2月の全校朝会**は、**インフルエンザ流行のために放送での朝会**となりました。管理棟1階の放送室から放送しました。**教室からの子ども達の元気なあいさつや2月の呼び方(如月,February)、や「江北の子の合い言葉」が放送室まで聞こえてきました。**

写真等が子ども達に見せることができないのが残念でしたが、「**アインシュタイン**」について話をしました。アインシュタインは、1897年ドイツに生まれ、幼いころは言葉を覚えたり暗記したりするのが苦手で、スポーツや音楽も苦手でした。しかし、父からもらった方位磁針が常に北を向いていることに、なにか目に見えない力が働いているのではないかと考えました。「**不思議だな。」「どうして?」**といつも問いを**持ち続け、考え続けた**ことにより、すばらしい理論を生み出し、「**現代物理学の父**」とまで言われるようになったのです。アインシュタインの理論から「**原子爆弾**」ができてしまいましたが、「**科学は、世界を救うためにある。科学者は平和のために戦うべきである。**」と核兵器をなくすために、**最後の最後まで自分にできることを考え行動し続け**ました。「**天才とは、努力する凡人のことである**」とあるように**自問自答しながら、あきらめず努力してほしい**ことを伝えました。

その後、今月の詩を紹介しました。**1月の詩は、145名が合格**しました。普段の月よりも日数が少なく、私が出張等で学校にいないことも多かったのですが、よく頑張ってくれました。

**2月の詩は「うめの花」**です。春を感じながら覚えてほしいと思います。

うめの花  
うめの花が さいたら  
春だつてさ  
ぬまに 氷が はつてても  
やっぱり 春だつてさ  
春は 風のおいで  
わかるつてさ  
うめのつぼみが その風の  
においを 知ってるつてさ  
うめの花が さいたら  
春だつてさ  
耳のしもやけ かゆくても  
やっぱり 春だつてさ

宮沢章二



## ☆江北町少年の主張大会☆

1月25日(土)江北公民館で江北少年の主張大会が行われました。

開会の前に、スポーツ庁長官の鈴木大地氏が時間の合間をめてて激励に来ていただきました。幼いころ体が弱く、少しでも体を強くするために始めた水泳だったそうです。その人の**努力次第でどんな未来にでもなる**ことを感じました。



**第1部の国内交流事業発表**では「東京都足立区立江北小学校との交流について」を小林佑輝さん、米田速基さん、三浦和愛さん、大久保咲空さん、清水蒼來さん、鶴田脩叶さん、原口利来さん、小森七海さん、西村吏央さん、福田琴さんがパワーポイントを使って発表してくれました。小笠原幸輝さんは、当日参加できませんでしたが、原稿をつくったり、練習に参加したりしてくれました。

**第2部の少年の主張「小学生の部」**でも代表の子ども達が、様々なテーマで自分の考えや思いを発表してくれました。

## ☆おめでとう☆

### 新春書き方会 地区審査

#### 【硬筆の部】

##### 特選

1年	1名	2年	1名		
3年	1名	4年	1名	5年	1名
6年	2名				

##### 入選

1年	1名	3年	1名		
4年	3名				

#### 【毛筆の部】

##### 特選

4年	1名	5年	1名		
6年	2名				

##### 入選

4年	2名				
6年	2名				

